

なくせ公害、守ろう地球環境

第44回公害総行動の成功を目指して

大気汚染被害

ぜん息患者が安心して治療を受けられる「医療費救済制度創設」を国に求め続けてきました。2月には国・自動車メーカー7社を相手に「公害調停」の申し立てを行い、トヨタ要請を中心に財源負担を迫ることにしました。

ノーモア・ミナマタ

「公害の原点」といわれる水俣病が公式発見から63年後のいまなお解決していません。すべての被害者救済を求め、熊本と東京・大阪・新潟地裁で約1700名が裁判。国・チッソ(昭電)の加害責任を徹底追及し、早期の勝利判決をめざしています。

建設アスベスト

「謝れ・償え・なくせ」を訴える建設アスベスト訴訟は地裁・高裁で十連勝、国の責任を断罪。いま最高裁段階のたたかいをすすめています。最高裁の判決を待たずに政治の力で「救済基金創設」を求め、「命あるうちの救済」をめざしています。

NO₂測定運動

大気汚染測定運動東京連絡会は1978年に発足。毎年6月と12月に一斉測定をおこない、今年6月で83回目をむかえます。足元の大気汚染を調べ、安心して吸えるきれいな空気を取り戻すため、測定運動を続けます。

福島原発被害

あの3・11原発事故からまる8年をむかえますが、過酷事故被害の苦しみはいままも続き、放射能被ばくの危険から子どもを守る避難を強いられています。全国各地で国・東電の重大な過失責任を問う裁判がおこなわれ、今春には連続判決が出ます。

茨城・東海第二原発

40年の廃炉期限を過ぎた日本原電・東海第二原発の「20年運転延長」を認めた規制委員会。30キロ圏内自治体「事前同意協定」と「実効ある広域避難計画」を焦点に、東海第二原発の再稼働を許さず、首都圏の原発ゼロをめざしています。

化学兵器ネットワーク

日本軍が戦時中、中国で国際法違反の毒ガスを使用しました。敗戦時に遺棄して戦後多くの被害を出しています。日本国内でも遺棄された毒ガスの被害が出ています。日本政府の責任を追及していますが誠意なしです。被害救済が急務です。

江戸川「スーパー堤防」

治水対策としても無意味であるばかりか、緊急に必要な堤防強化対策の妨げになっているスーパー堤防事業が江戸川区で強引に進められています。対象地区の住民が2011年から三次にわたる訴訟を提起し戦っています。

協賛団体

医療法人財団健和会、足立健康友の会、足立あおぞら連絡会、北千住法律事務所、東京東部法律事務所、新協建設株式会社、江東・墨田あおぞら連絡会、大気汚染測定運動東京連絡会、化学兵器被害解決ネットワーク、葛飾青空の会、江戸川大気汚染をなくす会

実行委員

鈴木十紀子(足立)
相野谷安孝(足立)
沼田通孝(荒川)
宮澤園寛(江戸川)
吉野五郎(葛飾)
森倉次郎(葛飾)
内田敬三(江東)
西川学(墨田)

「東部学習のつどい」実行委員会

事務局 公害・地球環境問題懇談会
新宿区新宿2-1-3 サニーシティ新宿御苑 10F
清水 滯 (携帯電話 090-5510-9502)